

せせらぎ SeSeragi



漢方のよさ No.106 号 ～更年期障害Ⅲ～

発行日：2014年1月5日(日)

発行者：浮田 徹也

発行所：医療法人 せせらぎ会 浮田クリニック

〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1

☎077-574-3751 ☎077-574-3792

HP: <http://www.ukita.gr.jp>

✉ e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

明けましておめでとうございます。

昨年11月に堅田で開院して、もう2ヶ月になります。電子カルテ、外来では、問診、診察、検査（血液・尿検査、NST検査など）、予防接種にも少しずつ慣れてきていますが、皆様方には大変ご迷惑をおかけして申し訳なく思っています。入院ではお産、帝王切開などマニュアル通りに実施できています。今年も地域に根差した、患者さまに優しい医療を提供したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

この“せせらぎ”は、今年から、奇数月は「東洋医学に関する話題」、偶数月は「産婦人科に関する話題」を中心に発行する予定です。毎月お楽しみください。

更年期障害について考えてみましょう。WEBサイトのバックナンバーせせらぎ21号、33号、38号、44号、46号、58号、68号、78号、84号、91号、98号、104号も参考にしてください。ホルモン剤、精神安定剤、睡眠薬などが主流で、胃腸薬、ビタミン剤、食事療法、気功、ヨガ、水泳、エアロビックス、マッサージ、鍼灸も利用されています。最近は、健康志向から漢方薬に対する関心が高まっています。副作用が少なく、ホルモンバランスに影響を及ぼさず、様々な症状を解消でき、長期にわたる服用が可能なのが大きな理由でしょう。この時期、どのような症状に苦しいのでしょうか？のぼせ、ほてり、発汗、動悸、頭痛、肩こり、冷え性、イライラ、めまい、腰痛、おりもの、排尿障害、便秘・・・などがあげられます。誰でも少しずつ年をとります。皮膚や筋肉や内臓の動きが年と共に低下します。卵巣の機能が低下すれば、加齢が進み、体の不調を訴え、その不調に悩んだり悲観し、気持も沈み、イライラしやすくなります。日常生活を考えてみましょう。夫の多忙や退職、子供の受験、就職、結婚、両親の老後の心配が生じる頃でもあります。自分自身の自由な時間が減り運動不足にもなりがちです。実際に漢方薬を飲みたい時、漢方薬はどのように選べばいいのでしょうか？ご自分の色々な症状を聞いてもらい、脈や舌やお腹を診察して、体の状態を漢方医学的に診断してもらうことです。そうすれば、体の老化現象、胃腸機能の低下、皮膚の乾燥、イライラやせつかな気持ちを和らげる漢方薬を処方してもらえ、体の血液循環、顔や手足や内臓のむくみ、皮膚の乾燥や情緒不安が改善してきます。更年期障害でお悩みの方、漢方薬も試してみませんか？

では、実例に移ります。

45歳女性、**更年期障害**、顔のほてり、発汗異常、動悸、イライラ、便秘、不眠。生理周期は長く、量も減少してきた。顔は赤く、上半身の汗がひどい。脈は浮緊数、舌は赤く、乾厚黄苔、お腹は硬く、心下部と右脇胸附と両側臍傍に抵抗と圧痛。そこで、桃核承気湯+大黃牡丹皮湯+桂枝茯苓丸を処方。4週間後、便秘改善、ほてりと不眠はやや減少したが、発汗と動悸は不変。そこで、メノエイドコンビパッチ（貼付剤）と通導散+桂枝茯苓丸+三黄瀉心湯を処方。4週間後、ほてり、発汗、動悸など改善。1年後、ホルモン剤中止。3年後の現在漢方薬を継続中。

27歳女性、**アレルギー鼻炎**、鼻水、鼻つまり、クシャミ、足腰の冷え、軟便傾向。顔はややむくみ、脈は浮滑、舌は淡紅色、湿無苔、



ハイデルベルグ
(ドイツ ドイツ最古の大学医学部がある)

腹は両側臍傍に抵抗圧痛。そこで、小青竜湯＋附子を処方。2週間後、症状不変。小青竜湯＋真武湯＋附子に変更。4週間後症状改善。

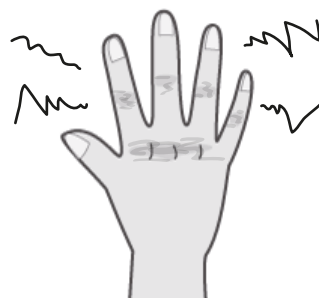
49歳女性、**しもやけ**、冷えたり、気温が下がると手と足の指先にしもやけ。当帰四逆加呉茱萸生姜湯＋真武湯＋附子を処方。2週間後、しもやけ部の赤紫色がやや薄くなった。

4週間後、附子増量で症状改善してきたが、寒いと、手足の指がむくんで赤くなる。夏は附子を減量し、秋から冬にかけて増量。服用するようになり3年、現在に至っている。

[院長]

しもやけ

手、足、耳、鼻にできやすく、たる柿タイプ（赤紫に腫脹）と多型滲出性紅斑タイプ（赤い環状）があります。ぬらさないよう、冷さないようにすることが大切です。当院では、漢方薬、軟膏、スーパーライザー（近赤外線）などで治療をしています。晩秋～早春とそれ以外の季節で、服用する薬が異なることがありますから、診察をしながら、使用する漢方薬を決めていきます。



アレルギー性鼻炎

1～5月頃、8～10月頃の季節に発症する人（季節性）と年中症状のある人（通年性）がおられます。花粉、ほこり、動物の毛、気温、感情の変化が影響します。鼻水、鼻づまり、クシャミの激しい時の漢方薬（発作用）と体質改善の漢方薬があります。また、血液でアレルギー検査（花粉、動物の毛、食べ物など）もできます。明らかな原因がある場合は日常生活にも気をつけるよう指導いたします。



当院の漢方治療

剤型

エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。

漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。25～30分煮て作ります。当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫（冷凍庫）で保管して下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害…などすべての症状。

漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性脾炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病…

漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用…

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が向こう：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診察法（四診）や検査（超音波、血液、便、尿、痰膿分泌物、心電図、骨量測定…

妊婦健診 携帯またはパソコン予約

この度、当クリニックではWEB（携帯・PC）予約システムを導入致しました。午前診・午後診の「順番取り」となります。（時間指定の予約ではありません。）
「妊婦検診」のみ予約をお取りいただけます。

妊婦健診WEB予約受付時間

午前9：15～午後12：15
午後4：45～午後6：45

ご来院窓口受付時間

午前8：30～午後12：30
午後4：30～午後7：00



※受付時間内であればWEB予約終了後でも来院窓口受付をさせていただきますが、予約の方が多い場合は待ち時間が長くなる事があります。
※予約の方は余裕を持ってご来院ください。

漢方入浴剤

- ・美芳湯（ひほうとう）：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯（しょうりゅうとう）：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

マタニティーヨガ

マタニティーヨガのインストラクターによる教室です。第一回は11月28日（木）に実施され、4階のお部屋で景色も楽しみながらご参加頂きました。当院分娩の方：1000円、他院分娩の方：1500円

アトピー軟膏健康食品（グルコサミン、コンドロイチン、のどアメ）

漢方薬（生薬）のみで作られた軟膏です。
・紫雲膏・太乙膏・葉酸（鉄）・霊芝・サメ軟骨・快步楽
・のどアメ（ハーブ イチゴ）

スーパーライザー（神経照射）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス…などの治療に利用しています。

予防接種 ワクチン接種

子宮頸癌予防ワクチン、インフルエンザ、BCG、三種混合（DPT）、麻しん・風しん（MR）、日本脳炎、水ぼうそう、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib（インフルエンザ菌b型）、肺炎球菌ワクチン（小児用 プレベナー）（高齢者）、その他

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

従業員募集

看護師、助産師（常勤、パート）、清掃業務従業員。
面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。

11月オープンの新しい環境で、一緒にお仕事しませんか？



外来診察時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~12:30	○	○	○	○	○	○	—
14:00 ~15:00	産後健診 予防接種	—	産後健診 予防接種	—	—	—	—
16:30 ~19:00	○	—	○	—	○	—	—

京大病院医師（金曜日）：産科専門の京大病院医師が毎週金曜日に妊婦健診を担当。

京大病院女性医師（土曜日）：京大病院の女性医師が毎週土曜日に女医外来を担当。

マタニティクラスのご案内

場所：当院 4 階 多目的ルーム

申込方法：申込ノートでご予約をお願いします。

立会分娩ご希望の方は特にご参加をお薦めします。（申込ノートにお名前記入をお願いします。）

マタニティクラスでは院内冊子の「HELLO BABY」にそって、お話をすすめていきます。

ご夫婦でご参加も多くご主人様もお気軽にご参加ください。

参加時には「HELLO BABY」「母子手帳」を忘れずにお持ち下さい。



マタニティヨガ
13:30-15:30

1月16日(木) 2月20日(木)

前期-マタニティクラス
13:30-15:30

1月13日(木) 後期-マタニティクラス
13:30-15:30

1月27日(木)

へんじゃく

扁鵲（春秋戦国時代〔前5世紀〕の人）

史記（司馬遷著 前90年）の扁鵲倉公伝に登場する名医。魏の皇太子の葬儀に立会い、仮死状態にあることを告げ、漢方薬と針治療で蘇らせた。また、斉の国王桓公の顔色を見て、「体表にある病邪を治療すれば助かる」と治療を薦めたが、王は信用せず、しばらくして死亡した。予防医学を試み宗教と医学を分離しようとした医師。扁鵲六不治は次の通り ①奢り高ぶり道理をわきまえない ②身体を粗末にして財産を重んじる ③衣食に節度がない ④陰陽が乱れ、内臓の気が乱れる ⑤痩せ衰え薬が服用出来ない ⑥巫を信じ、医を信じない

神應王扁鵲



分娩予約

妊娠20週までに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カード**が必要です。予約された方には、**入院誓約書**、**直接支払い制度合意書**をお渡しします。

パソコンホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・トップページ（お知らせの欄、診療日程カレンダー）
- ・産科と婦人科のページ（入院、食事、各種教室、指導）
（癌検診、不妊症、更年期障害）
- ・漢方治療のページ（漢方外来、漢方治療）
- ・各検診と予防接種のページ（健診、ブライダルチェック、予防接種）
- ・当院の施設案内、当院への交通（車、JR）

産後相談 母乳相談（助産師）

産後相談と母乳相談（有料）（乳房マッサージ）をしています。
午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。
日程は掲示板やホームページでお確かめください。（電話予約可）

産後健診 ベビー健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
日 時：毎 週 月、水 曜 日 午 後 2 時 ～ 3 時（有 料）

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含め、初産婦の方は6日間、経産婦の方は5日間です。

分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠23～25週（母体と赤ちゃんの状態をチェックします）に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください。

入院食（手作り）

厨房スタッフの作る心のこもった手作り料理です。旬の素材、味付け、メニュー…など、絶えず工夫し研究しています。パンも焼き立てを用意します。退院前日、当院4階のレストランでディナーをお楽しみください。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院で通院方に、登録証を発行しています（妊娠16～22週）。

詳細は受付でお聞きください。